

関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

ホームページ <https://kantoacco.omiki.com/>



第 37 回

4 号

2025.11.11 発行

編集 広報部

第37 回 関東アコーディオン演奏交流会『報告特集』

《独奏部門》 目標を上回る 72 名が出場！



秋のダンス イラスト 後平

月が最も美しく見えるといわれている 2025 年の中秋の名月は 10 月 6 日だったようです。
夜空に浮かぶ秋の月をながめて星座を想像してみると一日の疲れが取れるかも知れませんね。

目次	■ 出場お礼挨拶…2P	■ 審査結果と審査のまとめ…3～5P	■ 演奏交流会の様子…6～14P
	■ Ne! 風 琴うちわコンサート 2025…15～16P	■ 仙台うたごえの店バラライカを訪ねて…17P	
	■ Bellows & Strings Live…18～19P	■ トンボ・アコ(松本コース)発表会の様子…20～23P	
	■ 千葉アコ・サークルコンサート…24～25P	■ お悔やみ…26P	■ ホワイトボード…27～28P

第 37 回 関東アコーディオン演奏交流会のお礼

第 37 回関東アコーディオン演奏交流会には、いままでに多く 76 名の方からの応募がありました。（当日演奏された方は 72 名）長時間に亘る演奏交流会になりましたが、福岡県などの遠方からも参加いただきましてありがとうございました。

今回審査は、審査員 7 名での体制で行われました。ゲスト審査員に東京交響楽団の景山昌太郎氏を迎え、審査・講評の他にメッセージをいただきました。

『審査結果』は、ホームページ上で発表しました。また、審査事務局から後日提出された『審査のまとめ』とゲスト審査員のメッセージを本号の 4 ページから 5 ページに掲載したのでご覧ください。

今回も、当日サポーターを募集したところ複数の方が協力してくださり、朝早くから会場設営、司会、写真、計時、呼び出し、ドアマン等々の進行に、また後片づけにと新たな力で会の運営もスムーズに行うことができました。

また、プログラムへの広告と実行委員会の運営協力金のお願いに対して、多くの方々から賛同をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

動画撮影を行う試みも 3 回目になり、多くの方々から申し込みがありました。録画された自分たちの演奏を観て、次の演奏に役立つものが得られたとの感想も寄せられました。

アンケートでは、今後も続けて欲しいとか、楽譜の提出方法の問題、動画に対するご意見、実行委員会への労いの言葉など様々なご意見がありました。これらの貴重なご意見を検討して次回の演奏交流会に役立てていきます。また、何か気になることがありましたら、お近くの実行委員会委員までお知らせください。

次回（第 38 回）は、『重奏、バンド/アンサンブル、合奏部門』での演奏交流会になります、演奏交流会へのご意見や要望をいただき、次回の開催に向けて努力したいと思っています。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

最後になりますが、みなさんのご健勝と益々のご活躍を祈念しております。

2025 年 10 月 吉日

第 37 回 関東アコーディオン演奏交流会
実行委員長 塚本 五郎

第 37 回関東アコーディオン演奏交流会

～審査結果～

《ジュニアの部》

- 1 位 木下まこと 『天国と地獄』序曲より「カンカン」
2 位 高橋芽生 SONATA 調性 ト長調 作品番号 L290
努力賞 高橋芽生

《初心者 の部 A》

- 1 位 宮本健太郎 ルパン三世のテーマ
2 位 新家真紀 パリのお嬢さん

《初心者 の部 B》

- 1 位 早川早織 Canal de Castilla
2 位 青木希羅 Quando me lembro
3 位 山根美香子 OLE GUAPA

《シニア の部 B》

- 2 位 磯部裕子 EST OVEST
2 位 本荘雪子 組曲「白鳥の湖」より情景
2 位 矢部重光 高原列車は行く
入選 佐野由起子 Ave verum corpus
入選 浜崎秀子 オブリヴィオン
入選 山口伊知郎 踊り明かそう
入選 中村旬子 Stand Alone
入選 石橋友子 カチューシャ
入選 鈴木正美 枯葉
入選 園山三左子 MAS QUE NADA
努力賞 越村あや子 感傷的なワルツ

《一般中級の部》

- 1 位 金田斉 Prélude et Mazurka
2 位 宝田芙由子 Acquarelli Cubani (キューバの水彩画)

3 位	山中智子	Etude Sur Le Theme Chiquilin de Bachin
3 位	冠雅人	Style Musette
入選	河村智子	VALSE DU CLOWN
入選	鈴木麻紗子	古いスタイルの曲
入選	星野一美	Il postino
入選	高田裕子	Carnival of Venice (ヴェニス of 謝肉祭)
入選	織田裕美	パッサカリア
入選	小澤朋紀	CIRI
入選	水野美緒	シェルブールの雨傘
入選	柏原智章	REINE DE MUSETTE
入選	高橋絢子	SAMANTHA VALSE
入選	藤井基	Escualo
入選	佐藤聖子	ワルツ第 10 番ロ短調 Op69-2
激励賞	千田康司	anantango
わくわく賞	石垣真里子	誕生日の歌
スマイル賞	伊藤悠	PIETRO'S RETURN
景山賞	成田和慶	Etude ~sur le thème "Chiquilin de bachin" A.Piazzolla~

《一般上級の部》

1 位	小林のり子	Arabesque 5 / 7
2 位	渡部由美子	ソナタ第 2 番 第 1 楽章
3 位	森藤みちる	SVS
3 位	島田彩乃	Storie Inventate~Danse Chronique

(※同位の場合は、プログラム順に表記)



■ゲスト審査員 景山昌太郎氏からのメッセージ

ヴァイオリニストである私にとって、今まで接点の少なかったアコーディオン。審査員という立場でありながら、結果だけではない、アコーディオンの魅力を伝えたい、純粋に音楽をしたい。皆様の想いに、時間を忘れて聴き入っておりました。

今回演奏された皆様と、いつの日か共演ができれば嬉しいな。その様な気持ちにさせていただきました。

素敵な 1 日をありがとうございました。



第 37 回関東アコーディオン演奏交流会／独奏の部 審査のまとめ

2025 年 9 月 21 日（日） 北区滝野川会館

《審査員》（アイウエオ順・敬称略）

大田智美、大塚雄一、川口裕志、柴崎和圭、松永勇次、三浦みゆき

ゲスト審査員： 景山昌太郎（バイオリン奏者）

《審査担当》（アイウエオ順・敬称略）

ジュニアの部・初心者の部 A.B 審査員：大田智美（※）、景山昌太郎、松永勇次

シニアの部 B 審査員：大塚雄一、川口裕志、柴崎和圭（※）、三浦みゆき

一般中級の部審査員：全員、（柴崎※）

一般上級の部審査員：全員（大田※）

（※は各部門の審査員長）

《参加者》

ジュニアの部 2 名、初心者の部 A 4 名、初心者の部 B 5 名、シニアの部 B 17 名（辞退 1）、
一般中級の部 36 名（欠席 1）、一般上級の部 8 名

今年の関東アコーディオン演奏交流会は、例年にも増して多くの参加者が集まりました。関東だけでなく、九州から東北まで全国各地から参加者が訪れ、アコーディオンの広がり発展を感じられる大会となりました。特に若い世代の参加が目立ち、日本のアコーディオン界の未来に大きな希望を抱かせます。実際、かつてこのコンクールに参加された方々の中には、現在プロとして活躍している方も多く、関東アコーディオン演奏交流会の歴史と役割の大きさを改めて感じました。

毎回思うことですが、参加者の皆さんはこの日のために多くの時間と努力を重ねてきたことでしょう。重たい楽器を背負い、緊張の中で堂々と演奏する姿は本当に素晴らしく、全員に拍手を送りたい気持ちです。もしできることなら、参加者全員に賞を贈りたいほどです。

今回のコンクールは、朝 10 時から夕方 18 時半を過ぎる長時間に及びましたが、審査員も一人ひとりの演奏に真剣に向き合い、心を込めて審査を行いました。

年々、参加者のレベルは確実に上がっています。演奏される曲の幅も広がり、ポピュラー、クラシック、民族音楽など、多彩なジャンルが披露されるようになりました。審査をしていて特に感じるのは、曲の理解力や指の技術の向上です。非常に嬉しいことですが、同時にアコーディオンという楽器の本質、『リードを空気の流れて振動させて音を「作り出す」楽器であること』を改めて意識してほしいと思います。指の技術だけでなく、ジャバラ操作（ペローイング）の表現力を磨くことで、より深い音楽が生まれます。同じ楽譜を同じ楽器で弾いても、奏者によって全く異なる音が響くのがアコーディオンの魅力であり、それこそがこの楽器の奥深さだと感じます。審査中にも「この音は心に響く」と感動させられる瞬間が何度もありました。

私は、コンクールは順位を競う場ではなく、自分自身と向き合う学びの場だと思っています。賞をもらうことは副産物であり、本当に大切なのは、自分の成長を感じること、そして音楽を通して互いに学び合うことです。このコンクールは、演奏すること・聴くこと・審査員からのアドバイスを受けること、そしてアコーディオン仲間との交流を通して、新しい発見と刺激を得られる素晴らしい場です。

また、参加者だけでなく、実行委員をはじめ、裏方として支えてくださった多くの方々のご尽力があってこそ、今年も無事に開催することができました。この場を借りて心より感謝申し上げます。来年は重奏・バンド/アンサンブル・合奏の回となります。次回も、より多くの笑顔と音楽に満ちた会場で、皆さんと再びお会いできることを楽しみにしています。

柴崎和圭 / 審査事務局

《入賞・入選者演奏の様子》

『ジュニアの部』・『初心者の部A／B』

2025年9月21日(日) 開始:10:10 会場:滝野川会館小ホール(5階)

- ◇審査員 ※大田智美 景山昌太郎(ゲスト) 松永勇次 (五十音順、敬称略)※は各部門の審査員長
- ◇演奏曲は、3～4ページ掲載の「審査結果」を参照ください。(シニア、一般中級、一般上級も同様)
- ◇演奏者氏名(敬称略:シニア、一般中級、一般上級も同様)
- ◇司会(長澤) 進行(塚本) 椅子出し(塚本・浅川) 呼び出し(浅川)
- ◇計時(和里田・後平) 録画(織田) 写真(伊藤)

ジュニアの部 (出場者2名)

☆入賞第1位



木下まこと

☆入賞第2位 ☆努力賞



高橋芽生

初心者の部A (出場者4名)

☆入賞第1位



宮本健太郎

☆入賞第2位



新家真紀

ジュニアの部・初心者の部(A・B)
審査員(敬称略、五十音順時計回り)



(※)大田智美



景山昌太郎



松永勇次

初心者の部B (出場者5名)

☆入賞第1位



早川早織

☆入賞第2位



青木希羅

☆入賞第3位



山根美香子

*****『シニアの部』開始：10：00 会場：大ホール（1階）*****

シニアの部B （出場者 18 名/内 1 名出場辞退）注記：同位の場合プログラム順に掲載

☆入賞第 2 位



磯部裕子

☆入選

☆入賞第 2 位



本荘雪子

☆入選

☆入賞第 2 位



矢部重光

☆入選



佐野由起子

☆入選



浜崎秀子

☆入選



山口伊知郎

☆入選



中村旬子

☆入選



石橋友子

☆努力賞



鈴木正美



園山三左子



越村あや子

シニアの部 審査員（敬称略）



左から：三浦みゆき・川口裕志
（※）柴崎和圭・大塚雄一

◇司会（工藤） 進行（前原） 椅子出し（後藤・川上） 呼び出し（仙仁・佐藤優美子）

◇計時（合原・東谷） 録画（佐藤） 写真（長沢友也）

*****『一般中級の部』開始：13：00 会場：大ホール（1階）*****

一般中級の部

（出場者 37 名/内 1 名欠席）注記：同位の場合プログラム順に掲載

☆入賞第 1 位



金田 斉

☆入賞第 2 位



宝田 芙由子

☆入賞第 3 位



山中 智子

☆入賞第 3 位



冠 雅人

☆入選



河村 智子

☆入選



鈴木 麻紗子

☆入選



星野 一美

☆入選



高田 裕子

☆入選



織田 裕美

☆入選



小澤 朋紀

☆入選



水野 美緒

☆入選



柏原 智章

☆入選



高橋 絢子

☆激励賞



千田 康司

☆景山賞



成田 和慶

☆入選



藤井 基

☆わくわく賞



石垣 真里子

☆入選



佐藤 聖子

☆スマイル賞



伊藤 悠

一般中級の部 スタッフ

- ◇司会（中村）（磯部） 進行（前原）
- ◇椅子出し（後藤・山口・野中・長沢友也）
- ◇呼び出し（石橋・越村・和里田）
- ◇計時（佐藤優美子・田崎）
- ◇録画（佐藤） 写真（織田）

一般中級の部審査員（敬称略）※審査員長 写真左から
川口裕志・松永勇次・三浦みゆき・（※）柴崎和圭・大田智美
景山昌太郎（ゲスト審査員）・大塚雄一



*****『一般上級の部』開始：17：30 会場：大ホール（1階）*****

一般上級の部（出場者8名）注記：同位の場合プログラム順に掲載

☆入賞第1位



小林のり子

☆入賞第2位



渡部由美子

☆入賞第3位



森藤みちる

☆入賞第3位



島田彩乃

一班上級の部 審査員 一般中級の部に同じ（※）審査員長
川口裕志・松永勇次・三浦みゆき・柴崎和圭・（※）大田智美
景山昌太郎（ゲスト審査員）・大塚雄一

一般上級の部 スタッフ

◇司会（磯部） 進行（前原）

◇椅子出し（後藤・長沢友也・橋上）

◇呼び出し（塚本・和里田）

◇計時（鳥居・星野）

◇録画（佐藤） 写真（織田）



◇審査員サポート（1日通し）望月

◇審査員接待（1日通し） 柊・横川・佐藤・竹中

◇その他：舞台設営 ドアマン メッセージカード回収 会場片付け etc 休憩時審査員に水分補給



小物を使って演奏しました



ウィスキーの小瓶

シニアの部：関根貞夫「茶色の小瓶」

こんな仕事もありました



計時



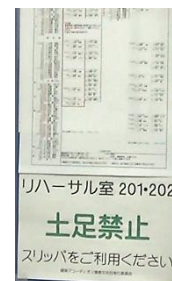
椅子出し



メッセージカード仕分け



受付



場内掲示



手前・中央：JAA コーナー（曲集・CD 等販売）
奥：楽器メンテナンスコーナー（音楽センター）



サンクンガーデンで昼食



「アンケート」に、ご協力ありがとうございました。 回収 31 枚
回収率 28%

- (1) 本日の会を知ったのは（記入なし 3）
 - a. サークル、教室の人から（14）
 - b. チラシ、関東アコニュースで（10）
 - c. ホームページで（2）
 - d. その他（2）内訳：参加者から勧められた（1） 知人の SNS で（1）
- (2) 演奏交流会の進め方は（記入 27）
 - a. 良かった（24）
 - ・細かく休憩があつてとても良かった。
 - ・結果発表＆講評が後日なのは良いです。毎回そうしたら良いと思います。
 - b. 改善した方が良い（3）
 - ・演奏再開するときロビーでアナウンスがあると良いと思います。
 - ・舞台袖で、演奏後の戻り方を教えていただけたらありがたかった。
 - ・「上級の部」の始まりが遅くて、残念ながら聴けなかった。例えば、昼食休憩時間をもう少し減らしたり『時間の配分を改善するなどしていただきたいな』と思いました。
- (3) 今後、このような演奏交流会に参加してみたいですか？（記入 19）
 - ・ずっと出場する。（2）
 - ・是非（2）
 - ・参加したい。（1）

※継続して参加したい理由として、◎発表の場としてそれを目標にして取り組める、

- ◎勉強になる、◎思った以上に大規模でわくわくした。等が上がっていた。
- 他に、◎次はボランティアもします、◎数年に1回ソロは挑戦してみたい。
- ◎ソロに出るにはまだハードルが高いと思っていますが、2年がかりで挑戦してみようかなと、来年の合奏・アンサンブル・重奏はどちらかで出ようと思っています。
- ◎初めて来ました。今回は小ホール“午前中”しか見れませんでした。次回は大ホールの演奏を聴いてみたいです。
- ◎また聴衆として参加できる機会があれば参加したい。etc

(4) 良かった曲、(好きな曲) (記入 19)

どの演奏も素敵で、「メッセージカード」への記入もあって書きづらいのかも知れません。約1/3の方は記入がありませんでした。

また、大ホールと小ホールとで同時進行なので全部聴くことはできません。開会が10時からと早く、しばらくは観客が少ない中での演奏になってしまうなどのやむを得ない状況もある中で、好評を得た演奏曲は「Arabesque」「古いスタイルの曲」「(キューバの水彩画)」「Il postino」「シェルブールの雨傘」「Prélude et Mazurka」「威風堂々」等30数曲にも上り、ジャンルも多岐にわたっています。

(5) 公式録画の提供について感想 (記入 13)

- ・せめて本人の録音は許可して欲しいです。公式録画を購入しても、本番当日に自分の演奏を振り返りたい人もいます。
- 写真や録画は公式のみにするのは賛成です。演奏中に観客がパシャパシャやらずに良いです。
- ・申請式にするなど、自分のスマホで撮れるようにしていただきたいです。
- ・遠方で、会場まで来れない人や、長時間、会場にいられない人のために期間限定、有料で見れるといい。(全員でなく、本人の許可を得ても)

※上記3件が多かった意見です。他に、アコーディオン振興の観点からも禁止にしないで欲しい。また、地方や当日来られなかった人向けに、各部門上位3位の演奏動画を有料で見られるようにして欲しい。少し高い気がします。等の意見も寄せられました。

(6) その他何でも (記入 16)

- ・舞台袖に「荷物置き場」があったのがとても良かったです。次回も是非！
- 舞台の椅子が選べるのがとても良かったです。次の重奏の部の椅子も選べるといいですね。(座面が沈み込まない練習室にある椅子がステージでも使えるといい)
- ・メッセージカードのプログラム No. を書くところに、中級とか上級とか部門の選択もあると良いです！
- ・メッセージカードにメールアドレスを記入すれば、値上がりしているお礼のはがき代を節約できるのでご検討下さい。
- ・一般中級の部でも、上級者と思われる方も多く大変聴き応えがありました。こんなにもアコーディオンを演奏される方が多いことに驚きました。
- ・メッセージカード素晴らしい企画だと思います！書いて楽しかったです。

※一般中級の部の上位入賞者は次回は上級枠へ移る、中級をA,Bに分ける等上級の範囲を広げて中級から移行し易い環境をつくるなどの意見が見られた。

※20年ぶり、30年ぶりに観に来て、子どもたちが出ていたときのことを思い出しました。等の感想も頂きました。



楽しかった懇親会



コロナ禍後初めてとなる演奏交流会終了後の懇親会（打ち上げ）が、滝野川会館（演奏会場）地下1階レストラン「けやき」に於いて19時頃から約1時間半開催され、予定していた30名を超える参加者が集いました。九州（福岡）から出場された高校生、広島からの参加者も出席され東京へ出てこられて演奏した感想や、他の演奏を聴いた感想などでテーブルごとに飲食しながら賑やかな懇親会となりました。

後半、代表して数人感想を述べた際には質問の手がたくさん挙がっていました。また、トンボ楽器製作所の真野照久さんによる「スタイルミュゼット」の演奏に聴き入りました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に塚本実行委員長からお礼のあいさつがあり、佐藤実行委員の発声で1本締めを行い終了しました。（以下に打ち上げの様子を写真で紹介）



乾杯直後の様子（乾杯のタイミングを逃した）



他の方が頑張っているので、
今以上に頑張らないと、いい刺激になりました。（青木さん）



アコーディオンを演奏する人が
いっぱい集って魅力的な会だなあと感じた。
自分の演奏を振り返りながら、皆さんの演奏を
思い出しつつこれからも続けていけたら
いいなと思っています。
成田さん（福岡）



中級の部の司会をしていました。
若い人が素晴らしくて、そこに居ただけで嬉しくて
メッセージカードを書きたくなっちゃう。
中村さん



舞台袖で進行を担当しながら皆さんの演奏を聴いていて、レパトリーの広さが素晴らしいと感じました。 前原さん



中級を目指す人をもっと増やしたいなと思っています。 島田さん



九州、福岡のクラシックアコーディオンラボで練習しています。関東のみなさんの演奏を聴けて刺激になった。難しい楽器だと思うけれどこれからも頑張りたい。 斉藤さん



本当は全員に賞をあげたい。遠くからもありがとうございます。皆さん自信を持って練習を続けて下さい。この部分はもっと伸びるだろう、ここを練習すればもっと良くなる。こうすれば、ということを譜面に書込みました。来年またお会いしましょう。

柴崎和圭先生



質問する参加者、田崎さん



スタイルミュゼットを演奏する真野照久さん



第37回関東アコの成功と皆様の健康を願って、1本締めを行います。佐藤さんの発声で よー

ポノ



70名を超える申込があり長時間になりました。先生方ありがとうございました。皆さんもお疲れ様でした。コロナ禍後初めての懇親会ですが開催して良かったと思っています。

塚本実行委員長

